

平成20年度

中部環境パートナーシップオフィス運営業務

業務実施報告書(第1四半期分)

平成20年7月31日

特定非営利活動法人 ボランティアネイバーズ

1. 実施業務の内容

(1) 事務所の維持管理・基本運營業務

① 開館日数及び来館者数等

4-5月の来館者は月平均184名、日約9名ほどである。あいちNPOプラザの移動により、NPOの方々が立ち寄る回数が減ったように思う。相談・問い合わせ内容は、やはりG8とCBDCOP9である。政府の地球温暖化防止対策の今後の展開についてや、愛知県・名古屋市そして環境省のCOP10に向けての質問が多くあった。詳細は、業務日報参照。

	4月	5月	6月	合計	月平均
開館日数	22	21	20	63	21
来館者数 (日平均)	181 (8.22)	190 (9.04)	182 (9.1)	553	184.3
問い合わせ件数* (日平均)	250 (12.45)	239 (11.38)	195 (9.75)	684	228

※問い合わせ件数は、来館・電話の合計数。

② 展示企画

「地域のエコをみつけよう～グリーンマップ・グリーンコンシューマーガイド」

グリーンマップあいちが取り組んでいるアイコンをもちいた地域のグリーンマップ、環境にやさしい商品をおいているお店や飲食店などを紹介したグリーンコンシューマーガイドなどを展示。マップやガイドを紹介するとともに、作り手としての参加のお誘いをPRした。

③ 運営協議会・業務計画関係

平成20年度業務計画については、別添のとおり作成。上半期運営協議会については、以下の通り運営を行った。また、運営協議会で検討された北陸地区と長野地区でのミーティングの企画準備を行った。

平成20年度上半期中部環境パートナーシップオフィス運営協議会

開催日時:平成20年5月27日(火)13:00～17:00

開催場所:中部地方環境事務所 大会議室

出席者数:24名(事務局6名、オブザーバー1名含む)

議 事:1)今年度事業計画について

2)「EPO 中部とどう関わるか～これまでとこれから～」

3)今年度実施するプロジェクトについて

①ESD 主体基盤強化

②協働政策形成

③協働評価指標作成・実施

4)北陸地区、長野地区ミーティングの開催について

(2)環境情報の収集、提供及び広報に関する業務

① 環境関係情報・資料の収集

地球温暖化防止および生物多様性の保全に関する資料が多くなっている。6月に入ってから企業環境報告書などが増えている。詳細は、別添:中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集、管理参照。

書籍	4月	5月	6月	合計
行政関係	27	14	26	67
企業関係	7	7	12	26
NPO等関係	37	27	33	123
その他	1	4	4	132
合計	72	52	75	199

② ホームページの更新

4 月においては、前年度事業の報告を主に掲載。5-6 月については今年度の事業の紹介、参加者募集、さらには運営協議会メンバーが企画実施する事業の情報提供などをおこなった。

	4月	5月	6月	合計
アクセス数	18,742	17,794	16,510	53,046

(3)環境パートナーシップの推進業務

③ スペースの提供

なごや環境大学共育講座会議などに提供。

② 様々な主体間における連携の促進

第1四半期における、様々な主体間の連携取り組みのために取り組んだ主な事業等としては以下の通り。

■運営協議会提案事業関係

- ・リコー中部(株)グリーンプロモーション エコひいき 2008
協働パートナー、運営事務局として、昨年度事業の評価反省及び今年度事業のコンセプト・すすめかた、企画詳細などを協議した。
- ・なごや環境大学事業
なごや環境大学実行委員として共育講座チーム会議、なごやを動かそうチーム会議、幹事会、総会に出席。
- ・(株)デンソーデンソーエコポイント制度地域還元事業
協働パートナーとして、事業企画、進め方、事業関係者の紹介、助成団体の選考会企画・運営などを実施。
- ・中部電力(株)環境学習キット事業(中電グループエコポイント事業)
協働パートナーとして、事業企画・運営、コーディネート、事業関係者の紹介などを実施。
- ・ユニー(株)提供なごや環境大学お店探検隊インタープリター養成講座
ユニー(株)、なごや環境大学、EPO 中部の3者で企画・運営を実施。

■環境省関係

- ・地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)運営協議会(4/11)
- ・全国 EPO 連絡会(5/13,14)
- ・ちゅうぶエコライフフェア 2008(6/14,15)
- ・日本全国環ボラの旅事業(GEIC)

■会議関係

- ・愛知県教育研修センター環境教育に関する研究会
- ・愛知県山村振興ビジョン会議
- ・ESD 中部拠点運営協議会
- ・名古屋市緑の審議会
- ・愛知県企業とNPOのCSRに関する意見交換会
- ・名古屋市生物多様性戦略審議会
- ・環境デーなごや 2008 実行委員会
- ・名古屋市ものづくり交流拠点プロポーザル審査会
- ・全労済助成金審査会

■その他

- ・生物多様性フォーラム COP9 報告会(主催生物多様性フォーラム)に出席
- ・低炭素社会に向けてーG8環境大臣会合の成果と国内排出量取引制度についてー公開ヒアリング(名古屋会場)に出席
- ・生物多様性条約事務局長ジョグラフィ氏との意見交換会に司会として参加
- ・リサイクルループ構築による食の安全と環境の保全シンポジウム(三功(有)主催)パネリスト参加
- ・中部経済新聞紙面企画(6/20 掲載)企画協力・インタビューとして参加

- ・瑞穂区まちづくり推進事業アドバイザーとして参加
- ・愛知県企業の社会貢献による環境活動促進事業に委員として参加

その他個別の環境活動の取り組み等に関する相談、助言については、業務日誌参照。

③ 人材育成・能力開発のための環境整備

i 協働政策形成の推進

上記事業については、企画作成・政策提言テーマに関する情報収集を行った。

ii ESD(持続可能な開発のための教育)の推進

・なごや環境大学 ESD 講座「つばやきをカタチにしよう ～ESD的学びをつくろう～」

第1四半期においては、全講座5回の予定のうち3回を実施。概要は、以下の通り。

1)第1回 「人＋人＋人…→『学びの場』」

日時:平成20年5月23日(金)18:30～20:30

場所:EPO 中部

進行:新海洋子・桜井温子

参加者数:19名

内容:私たちの気づき、学びは、人と出会い、思いをかわし、意見を重ね合わせる… そんな中で生まれてくる。どんな学びをしたいか、みんなのつばやきを重ね「未来をつくる学び」を提案した。

2)第2回 「みんなで描こう『未来をつくる学び』」

日時:平成20年5月24日(土)10:00～16:00

場所:東別院会館 蓮の間

講師:子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主 増田喜昭氏

参加者数:45名

内容:第1部では、ESD(持続可能な開発のための学び)=未来をつくる学びについて説明し、参加者同士の学びのつばやきを紹介しあった。第2部では、子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主の増田喜昭さんの、子どもも大人も「今大切にしたいものを大切にすスイッチ」をオンしている増田さんのお考えとご経験を伺った。第3部では、講演から感じたことやもっと知りたいこと、これから自分がしようと思うことなどを中心に会場とゲストとのセッションを行った。

3)第3回 「『未来をつくる学び』を行政と一緒にどうつくりますか？」

日時:平成20年6月27日(金)18:30～20:30

場所:EPO 中部

講師:愛知県総合教育センター 研究部長 井中 宏文氏

同教科研究室研究指導主事 櫛田 敏宏氏

参加者数:19名

内容:愛知県総合教育センターでの実践をお聞きして参加者みんなで学校教育におけるESD普及のあり方、学校と他セクターとの連携など、ESDのしくみや内容、方法、実践について新しい可能性を探った。

・かすがい KIZUNA プロジェクトサポート事業

日時:2008年6月19日(木)18:30～21:00

場所:中部大学

参加者:5名

内容:かすがい KIZUNA 事業に対して EPO 中部がサポートできることを提案した。サポート項目として、情報発信の強化、財政基盤づくり支援、事業の行政への周知、地域と学校の連携をすすめる他地域とのセッションなどを提示した。

・ESD 主体基盤強化プロジェクト事業

プロジェクトへの協力者リストアップおよび説明、承認を得るなどの働きかけをおこなった。

・ESD-T 担い手会議(毎月1回定例で実施)

第1回:日時 2008年4月18日(金)19:00～21:00 8名

第2回:日時 2008年5月16日(金)19:00~21:00 6名

第3回:日時 2008年6月20日(金)19:00~21:00 6名

内容:今年度 EPO 中部と協力しておこなう活動の柱としてなごや環境大学の講座と事例調査を位置づけその企画、運営に関しての話し合いを行った。

・ESD サロン

第1回:日時 2008年4月18日(金)18:30~19:00 事例:長野県大滝村の財政再建の取り組み 6名

第2回:日時 2008年5月16日(金)18:15~19:00 事例:福祉施設むつみ会の地域との協働 5名

第3回:日時 2008年6月20日(金)18:15~19:00 事例:増田喜昭氏講演会「こどものスイッチ」5名

内容:今まで実施した講座および取材した事例からESDを普及するツールを作るために、エッセンスや要素を見出すワークショップを行った。

・中部 ESD 拠点協議会運営委員会

月1回運営委員として参加。RCE 拠点として、地域の活動をつなぎいかに世界に発信していくかを検討・議論している。

その他事前打ち合わせ等については、業務日報参照。

■添付資料

- 1)中部環境パートナーシップオフィス 4月報告及び業務日報
- 2)中部環境パートナーシップオフィス 5月報告及び業務日報
- 3)中部環境パートナーシップオフィス 6月報告及び業務日報
- 4)中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集、管理 (4月・5月・6月)
- 5)環境省中部環境パートナーシップオフィス 平成20年度 運營業務計画書